

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



エンジニア2名が技能五輪で大活躍

技能五輪国際大会「ロボットシステムインテグレーション」部門で マパールのPhilipp Raab氏とMarvin Schuster氏が総合優勝

ドイツ代表チーム 世界大会で優勝

MAPAL(マパール)のメカトロニクスエンジニアであるPhilipp Raab氏(フィリップ・ラーブ)とMarvin Schuster氏(マービン・シュースター)が、先にルクセンブルグのエシュ・シュル・アルゼットで開催された技能五輪国際大会「ロボットシステムインテグレーション2022」部門において総合成績1位を獲得して優勝した。

若干20歳の両氏は、ドイツ代表として国際的な職業訓練競技大会に参加。卓越したパフォーマンスを披露し、熱戦の結果チーム・ドイツがみごとに優勝を奪取した。

技能五輪国際大会で 出場11カ国の頂点に

技能五輪国際大会は、若者の職業訓練を促進することを目的に、2年に一度、60以上の職業分野で技能を競い合う国際技能競技大会。同大会にはオーストリア、フランス、ハンガリー、ル

クセンブルク、ポーランド、イギリス、インド、日本、シンガポール、台湾など11カ国から、若いロボットプログラマーが出場し、技能を競い合った。

卓越したドキュメント プログラムデザイン

当初、ロボットプログラミング部門は上海で開催される予定だった。しかし、パンデミックのためルクセンブルグのエシュ・シュル・アルゼットに変更され、4日間にわたり各チームが倉庫物流における複雑なロボットアプリケーションのプログラミングが競い合われた。

競技は序盤から台湾チームがハイペースで一歩リード。これに対し、マーヴィン・シュースター氏は、「最後まで勝ち抜けると思っていた」と、競技を振り返る。

MAPALのトレーニング&デベロップメントの責任者であるUwe Heßler氏も、「プログラミングの速さでは、台湾チームは別格」と絶賛する一方で「最終的に得点の鍵はフィリップとマー



ヴィンのドイツチームが握っていた」と語る。その理由はドキュメントやプログラムデザインなど、他の分野では明らかにフィリップ・ラーブ氏とマービン・シュースター氏が優位に立っていたと指摘する。だが、それが勝利につながるか否かは最終審査に委ねられ、結果、総合成績で優勝した。

フィリップ・ラーブ氏とマービン・シュースター氏は、「私たちにあってサプライズでした」と歓喜した。

フィリップ・ラーブ氏とマービン・

シュースター氏は、今大会のために集中的に準備を行ってきた。

MAPALで製造技術とオートメーション分野に従事するMartin Ernsperger氏と、ファナック・ドイツの技能五輪ナショナルコーチJens Mühlegg氏が2人を指導した。また、アールン技術専門学校もサポートに加わった。

製造業における ロボットシステム

MAPALは、トレーニングセンターを設置し、ロボット工学を常設している。自社製の設備と適切な専門知識を持つ講師が、機械加工とオートメーションの分野で最新の先進技術を教えている。

MAPALは、新しい製造分野と若い研修生において、ロボティクスとアシストシステムに信頼を寄せている。

2018年、同社はメカトロニクスエンジニアのデュアルトレーニングに参入し、成果を上げている。メカトロニクスエンジニアとなった最初の訓練生が、今回優勝したマービン・シュースター氏とフィリップ・ラーブ氏で、日頃より積み重ねてきた技能を今大会で遺憾なく発揮し、他チームにポイントで圧倒的な大差で技能五輪国際大会「ロボットシステムインテグレーション2022」部門で優勝を獲得した。

(※資料提供：マパール)

